

あたらしい絵本 No. 375 2020. 11. 5



『だれかなあ?』 作・絵／みやにし たつや
・ピンク色のおしり、くろいつばさ、しましまのしっぽ…。身体の一部を見て、何の動物か当てっこする絵本。「ぶひー!」「ごろーん!」など、子どもがよろこぶ言葉も満載です。(幼0～5歳)



『とりあえずまちなしょう』 作／五味 太郎
・「正道日本料理フルコース」が出てくるまで、手術台の患者さんの麻酔がきくまで、電車がくるまで…。とりあえず「まちなしょう」と言ってしまう愉快なシチュエーションが盛りだくさんのユーモア絵本。(幼0～5歳)



『ありがとう、アーモ!』 文・絵／オーゲ・モーラ
・シチューのにおいをかぎつけた近所の人たちは、次々にアーモのアパートにやって来た。みんなにシチューをわけてあげただけけど…。アーモ、そんなにあげちゃって大丈夫? わちあいの心が鮮やかに描かれた、あたたかい物語。(幼0～5歳)



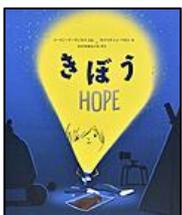
『おかあさんは「なんでだろう」とおもっています』 さくえ／岡田 まゆみ
・ズボンのすそを片方だけまくる。ポケットに毎日砂が入っている。着替えるときにぐるぐるまわる…。しろくまくんのおかあさんは、しろくまくんがすることに「なんでだろう」と思って聞いてみると…。(幼0～5歳)



『しろくまきょうだいのおべんとう屋さん』 serico／え
・ポールとノエルのしろくま兄弟がおべんとう屋さんを開きます。兄のポールが作るおべんとうは、どれもおいしそうなものばかり。弟のノエルがお手伝いをしたいと言い出して…。(幼0～5歳)



『絵本版100にちごにしめワニ』 さく／きくち ゆうき
・後100日したらワニは死んでしまう。でもワニはそれを知らない。ワニは今日も元気に暮らしている…。Twitter漫画「100日後に死ぬワニ」1日目から30日目までの中から13日間を選び、絵本化。(幼0～5歳)



『きぼう』 セバスチャン・ペロン／え
・フィンの大切な友だち、犬のコメットの具合が悪くなり、入院することに。なにかしてあげたいフィンは、パパに言われたとおり、「きぼう」を持ち続けようとする。すると…。誰かが誰かを思う気持ちをやさしく描いた絵本。(幼0～5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせください。



『けしごむいぬがわん』 ほりかわ まりこ／さく

・けしごむに色つけてぼん。これなーんだ？ あれあれ？ 歩き出したよ、わんわんわんー。けしごむ、ペンのキャップ、フォークなど身近なものを使ったはんこ遊びとアートの楽しさに溢れた、イマジネーションが豊かに広がる絵本。（幼3～5歳）



『おれ、きょうりゅうしんかんせん』 絵／山口 マオ

・おれ、ティラノサウルス。散歩をしていたら、泣いている新幹線と出くわした。新幹線の話を知っていると、勘違いしたお月様に、新幹線と合体させられてしまい…。ティラノサウルスの独り言が楽しい、ユニーク絵本。（幼3～5歳）



『ねこのニャンルー』 どい かや

・おじいちゃんの青いセーターの糸を使い、ニャンルーはおばあちゃんに教わってマフラーを編むことに。そしてついに、長い長いマフラーが編みあがり…。手仕事の楽しさや、思い出によってつながる家族の暖かさを描いた絵本。（幼3～5歳）



『おめでとうかいぎ』 作／浜田 桂子

・卒園した日の夜、なかなか眠れないゆうきくんは、通園バッグたちが開く「おめでとうかいぎ」に招待されます。そこで待っていたのは、ゆうきくんを見守ってきたものたち。思い出とともにお祝いが伝えられ…。（幼0～5歳、小初）



『ねこはるすばん』 町田 尚子

・人間が出かけていって、ねこはるすばん。と思いきや、ねこはタンスの奥から、こっそりねこの街にくりだした！ カフェに行ったり、ヘアサロンに行ったり、映画を観たりと、ねこの街を満喫して…。（幼3～5歳、小初）



『ゾウとともにだちになったきっちゃん』 あべ 弘士／絵

・動物園でゾウと出会ったきっちゃんは、ゾウのことが大好きになりました。何度も動物園にやってきて、ゾウのチャンポムに話しかけ続けていました。すると、チャンポムもきっちゃんにお返事をしてくれるように…。（幼3～5歳、小初）



『ボートやのくまさん』 フィービ・ウォージントン／さく・え

・ボートやのくまさんは、1そうのボートの家に、妹のスージーと馬のデイジーと住んでいます。縄でデイジーとボートをつないだら、仕事の始まりです。ボートで様々な物を運び、お金をもらいます…。「くまさん」シリーズの続編。（幼3～5歳、小初）



『きみにありがとうのおくりもの』 宮野 聡子／作・絵

・元気なこりすとのんびりやのくまくんは、ふたりでなかよく暮らしています。相手にしてもらっていることに気づいたふたりは、よろこびと感謝の気持ちを伝えあいます。「いちばんしあわせなおくりもの」の続編。（幼3～5歳、小初）

遠軽町図書館 遠軽町大通南4丁目 42-3632・FAX49-2102